

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

教科担当者：（鈴木：A・F・H組）（青木：B・D・G組）（田村：C・E組）

使用教科書：（標準論理国語 第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けて	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉の効果的に使おうとしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉の効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話	聞	書	読						
1 学 期	A 単元 「新しい発見」 【知識及び技能】 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。	「新しい博物学を（池内了）」 ・指導事項 評論文の読み方/ 近代論/ 段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ	○				授業態度/発問評価/指名音読/発表・報告/ 学習課題集・ノートの提出/ 小テスト/定期考査 等		○	○	○	10
		「哲学的思考とは何か（菅野一徳）」 ・指導事項 評論文の読み方/ 近代哲学/ 段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○			授業態度/発問評価/指名音読/発表・報告/ 学習課題集・ノートの提出/ 小テスト/定期考査 等		○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	B 単元 「人間と社会」 【知識及び技能】 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。	「SNSと意見の分極化（菅野仁）」 ・指導事項 評論文の読み方/ 情報論/段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○			授業態度/発問評価/指名音読/発表・報告/ 学習課題集・ノートの提出/ 小テスト/定期考査 等		○	○	○	11
	「コミュニケーションの文化（平田オリザ）」 ・指導事項 評論文の読み方/ コミュニケーション論/ 段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ			○		授業態度/発問評価/指名音読/発表・報告/ 学習課題集・ノートの提出/ 小テスト/定期考査 等		○	○	○	10	
定期考査								○	○		1	
2 学 期	C 単元 「生活と自然」 【知識及び技能】 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。	「クマを変えてしまう人間（千松信也）」 ・指導事項 評論文の読み方/ 環境論/ 段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ					授業態度/発問評価/指名音読/発表・報告/ 学習課題集・ノートの提出/ 小テスト/定期考査 等					10
		「カプトムシから考える里山と物質循環（大倉茂）」 ・指導事項 評論文の読み方/ 環境倫理学/ 段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ					授業態度/発問評価/指名音読/発表・報告/ 学習課題集・ノートの提出/ 小テスト/定期考査 等					10
	定期考査								○	○		1
	D 単元 「生への思索」 【知識及び技能】 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。	「経験の教えについて（森本哲郎）」 ・指導事項 評論文の読み方/ 経験論/段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○			授業態度/発問評価/指名音読/発表・報告/ 学習課題集・ノートの提出/ 小テスト/定期考査 等		○	○	○	10
	「僕らの時代のメディアリテラシー（森達也）」 ・指導事項 評論文の読み方/ メディア論/ 段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ			○		授業態度/発問評価/指名音読/発表・報告/ 学習課題集・ノートの提出/ 小テスト/定期考査 等		○	○	○	10	



高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 国語 科目 文学国語

教科: 国語 科目: 文学国語 単位数: 3 単位

対象学年組: 第3学年 A組~ H組

教科担当者: (ABEF組: 森谷) (CDGH組: 鈴木・森谷)

使用教科書: (文学国語 数研出版)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話	聞	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 「無用の人」という題名の意味について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	・指導事項 文学的作品の読解(平成の小説) ・教材 「無用の人」原田マハ ・一人1台端末の活用 等 語句の意味調べ	○	○	○		【知識・技能】題名の意味を考察する作業を通して、十分に語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考・判断・表現】語り手の視点を踏まえて「無用の人」という題名の意味を考察し、表現の特色を評価することを通して、作品内容を十分に解釈することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】主体性をもって粘り強く根拠立てて題名の意味の考察に取り組んでいる。	○	○	○	9
	B 単元 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って説明しようとしている。	・指導事項 文学的作品の読解(平成の小説) ・教材 「ひよこの眼」山田詠美 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味調べ	○	○	○		【知識・技能】 「手」の描写によって「私」の心情の機微を表現していることを理解し、十分に語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考・判断・表現】 「手」の描写が表現しているものを正確に理解し、そこで描かれる「私」の心情を読み取ることで、内容を十分に解釈することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら進んで作品内容を解釈し、他者にわかりやすく説明することができる。	○	○	○	9
	定期考査							○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	・指導事項 文学的作品の読解(大正の小説) ・教材 「檸檬」梶井基次郎 ・一人1台端末の活用 等 語句の意味調べ	○	○	○		【知識・技能】 作品を踏まえ、心の不可思議さについて考えることを通して、読書の意義と効用についての理解を十分に深めることができる。 【思考・判断・表現】 作品の内容や解釈を踏まえた文章であり、十分にものの見方、感じ方、考え方を深めていることが見て取れる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら進んで作品内容を解釈し、他者にわかりやすい文章が書けている。	○	○	○	9
	D 単元 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情と行動の関連性について粘り強く考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	・指導事項 文学的作品の読解(昭和後期の小説) ・教材 「ナイン」井上ひさし ・一人1台端末の活用 等 語句の意味調べ	○	○	○		【知識・技能】 英夫さんと常雄さんの心情を考察する作業を通して、十分に語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考・判断・表現】 語り手の視点を踏まえて、英夫さんと常雄さんの心情と、正太郎くんが日陰を作ったエピソードとの関連性を考察する作業を通して、作品内容を十分に解釈することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体性をもって粘り強く根拠立てて登場人物の心情と行動の関連性の考察に取り組んでいる。	○	○	○	9
定期考査							○	○		1	
E 単元 【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を	・指導事項 文学的作品の読解(大正の小説) ・教材 「こころ」夏目漱石 ・一人1台端末の活用 等					【知識・技能】 作品に共感したり、疑問をいだいたりすることを通して、読書の意義と効用についての理解を十分に深めることができる。 【思考・判断・表現】					



高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 国語 科目 国語表現

教科: 国語 科目: 国語表現 単位数: 3 単位

対象学年組: 第3学年 A組~ H組

教科担当者: ( ABEF組: 青木・鈴木・田村 ) ( CDGH組: 青木・田村 )

使用教科書: ( 国語表現(東京書籍) )

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】表現に必要な語彙、作文・小論文の構成や展開のしかたなどについて理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】課題文の読解、適切な表現方法など、文章表現上の基本的な知識を習得する。

【学びに向かう力、人間性等】他者と協働しながら、主体的に自己を表現することに関心をもち、意欲的に取り組む態度を育てる。

科目 国語表現 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自己PR、小論文の特徴・構成や展開のしかたなどについて理解を深める。	適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、表現上の構成や展開を工夫させる。	小論文と作文・感想文の違いをふまえ、他者を説得する論理的な文章を書くことに関心をもち、意欲的に取り組む態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			経 理	書	読					
1 学 期	単元 表現とは何か 【知識及び技能】 言葉や表記の大切さを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記や語彙を豊かにしている。	・教材 「国語表現」ワークブック ・指導事項 言葉、表記 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ	○	○	○	・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。 ・相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 分かりやすく説明しよう 【知識及び技能】 書き言葉の特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・教材 「国語表現」ワークブック ・指導事項 文章 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ	○			・書き言葉の特徴について理解を深めたり、理解しようとしている。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。 ・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 「自分」を表現しよう 【知識及び技能】 適切でわかりやすい表現方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自己を深く掘り下げ、適切な表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者にわかりやすい表現にする学習に積極的に取り組もうとしている。	・教材 「国語表現」ワークブック ・指導事項 文章、発表 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ	○			・自己PRの特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい表現方法を理解している。 ・長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。 ・自分が書いた文や文章が、聞き手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、工夫したりしている。	○	○	○	11
	単元 論理的な文章を書こう 【知識及び技能】 接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章全体を整えている。 【学びに向かう力、人間性等】 文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	教材 「国語表現」ワークブック ・指導事項 文章 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ	○			・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。 ・社会の様々な問題について考え、自己の意見をその根拠とともに論理的に表現しようとする。	○	○	○	10
2 学 期	単元 「自分」を表現しよう 【知識及び技能】 言葉の働きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分に関わる事柄を整理して、伝え合う内容を検討している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のこれまでの人生を振り返ってまとめている。	・教材 「国語表現」ワークブック ・指導事項 自己PR ・一人1台端末の活用 等 意味調べ	○	○	○	・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	単元 「自分」を表現しよう 【知識及び技能】 自分に関わる事柄を整理して、伝え合う内容を検討している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の思いや考えの構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に取り組もうとしている。	・教材 「国語表現」ワークブック ・指導事項 自己PR ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○		・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	単元 「自分」を表現しよう 【知識及び技能】 伝えたいことを明確にしている。 【思考力、判断力、表現力等】 表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に学習に取り組もうとしている。	・教材 「国語表現」ワークブック ・指導事項 志望理由書 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○		・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	単元 話し合う力をつけよう 【知識及び技能】	教材 「国語表現」ワークブック				・話し言葉の特徴や役割、表現の特色の理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現				

3 学 期	<p>適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己評価や相互評価に取り組もうとしている。</p>	<p>「国語表現」ワークブック</p> <p>・指導事項</p> <p>面接</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>意味調べ</p>	○					15
	<p>単元 説得力のある提案をしよう</p> <p>【知識及び技能】 話の構成や説明資料を工夫している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に取り組もうとしている。</p>	<p>教材</p> <p>「国語表現」ワークブック</p> <p>・指導事項</p> <p>演説</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>意味調べ</p>						13
	合計						105	

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 地理探究

教科：地理歴史 科目：地理探究 単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 CDGH 組

教科担当者：（GH組：塚本

使用教科書：（新詳地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見をふまえて表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題に主体的に取り組む態度を養

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、地球的課題とそれに対する取組、防災への地域的取組を理解するとともに、多様な地図や地理情報システム（GIS）を用いて、諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調査し、まとめる技能を身に付けることができる。	地理的事象の意味、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などの地理的見方・考え方に着目し、概念を活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けることができる。	地理的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：自然環境 【知識及び技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境について、よりよい社会 定期考査	・指導事項 地形、気候、環境問題 ・一人1台端末の活用 等 GIS活用、資料の共有、プリント提出	【知識・技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	18
	単元：資源と産業 【知識及び技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる	・指導事項 農業、工業、資源エネルギー ・一人1台端末の活用 等 GIS活用、資料の共有、プリント提出	【知識・技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	単元：交通と通信、環境と貿易 【知識及び技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみ 定期考査	・指導事項 交通・通信、観光、貿易 ・一人1台端末の活用 等 GIS活用、資料の共有、プリント提出	【知識・技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	単元：人口、村落・都市 【知識及び技能】 人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口	・指導事項 人口、村落と都市、都市問題 ・一人1台端末の活用 等 GIS活用、資料の共有、プリント提出	【知識・技能】 人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解してい	○	○		1



高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 倫理

教科：地理歴史 科目：倫理

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 自由選択

教科担当者：加藤隆造

使用教科書：（新倫理 清水書院）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせる。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題を追求したり解決に向けて構想したりする活動を行う。

【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

科目 倫理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を調べまとめることができる。	・自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。 ・現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、理論的思考し、説明したり対話したりすることができる。	・多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
個性的な主体としての自己	①心の機能と個性 ②パーソナリティの形成と「私」	【知識・技能】 パーソナリティに関するさまざまな理論を理解し、個性や人間の行動を多面的・多角的に説明することができる。 【思考・判断・表現】 個性や行動の原因に関する心理学的な知見から、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 パーソナリティに関する理論を手がかりにして、自己の課題や人間としての在り方生き方について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
心と行動をめぐる探究	①人間の活動を支える心 ②認知のしくみ ③生涯にわたる発達	【知識・技能】 欲求、感情、認知、発達に関するさまざまな心理学的な知見を理解し、個性や人間の行動を多面的・多角的に説明することができる。 【思考・判断・表現】 意欲、動機づけ、知覚、学習、記憶、問題解決、推論、道徳的判断、発達などに関する心理学的な知見から、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな心の在り方に関する理論を手がかりにして、自己の課題や人間としての在り方生き方について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
哲学の起源：ギリシア思想	①神話から哲学へー自然哲学者たち ②知と徳をめぐる問いーソクラテス ③理想主義的であり方ープラトン ④現実主義的であり方ーアリストテレス ⑤幸福をめぐる問いーヘレニズム思想	【知識・技能】 古代ギリシアの先哲が論じた人間観や人生観を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。 【思考・判断・表現】 古代ギリシアの思想の知見を用いて、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
唯一神の宗教：キリスト教・イスラーム教	①愛の教えーキリスト教 ②戒律と平等の教えーイスラーム教	【知識・技能】 ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の倫理に関する諸概念を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。 【思考・判断・表現】 イエスの言行やパウロの言葉、古代・中世のキリスト教神学の知見を用いて、人間としてのよりよい生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 宗教における倫理に関する諸概念の学習を通して、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。	○	○	○	4
東洋思想の源流：仏教・儒教	①智慧と慈悲の教えー仏教 ②共同体の理想ー儒教・老荘思想	【知識・技能】 仏教、儒教、道家の思想の倫理に関する諸概念を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。 【思考・判断・表現】 『論語』『孟子』など原典資料の読解を通して、人間としてのよりよい生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。また、性善説や性悪説といった対立する視点から現代の様々な課題を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 仏教や儒教における倫理に関する諸概念の学習を通じて、人間について深い洞察をおこない、また共感的理解の重要性について理解しようとしている。	○	○	○	4
授業内テスト			○	○		1

1  
学期





教科：数学

科目：数学Ⅲ

単位数：5 単位

対象学年組：第3学年 EF組

教科担当者：(鯉沼)

使用教科書：(「高等学校 数学Ⅲ」 数研出版)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしたりする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりする。

科目 数学Ⅲ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	分数関数 無理関数 逆関数と合成関数	分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】分数関数、無理関数のグラフをかくことができる。逆関数のグラフと元の関数のグラフの関係を理解し、逆関数のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】方程式や不等式を、分数関数と無理関数のグラフを利用して解くことができる。逆関数の定義域や値域、性質を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとしている。関数が逆関数をもたない場合について、定義やグラフを用いて考察しようとしている。	○	○		15
	数列の極限 無限等比数列 無限級数 関数の極限 三角関数と極限 関数の連続性	数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】数列や関数の極限について、収束、発散などの用語の意味を正確に理解し、調べることができる。右側極限、左側極限、 $x \rightarrow \pm\infty$ のときの関数の極限について理解し、指数関数、対数関数、三角関数についても簡単な極限を求めることができる。 【思考・判断・表現】不定形を解消するように工夫して式変形し、極限を求めることができる。はさみうちの原理を用いて極限を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】数列や関数の極限を求めるのに、不定形を解消する方法を工夫する。連続でない関数に興味をもち、グラフを用いて調べようとしている。		○	○	25
	定期考査			○	○	○	1
	微分係数と導関数 導関数の計算 いろいろな関数の導関数 第n次導関数 曲線の方程式と導関数	微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】定義にしたがって微分係数と導関数を求めることができる。公式を適用して、積の導関数、商の導関数、合成関数、逆関数の導関数を求めたり三角関数、指数関数、対数関数微分することができる。陰関数や媒介変数で表された関数を微分することができる。 【思考・判断・表現】連続性が微分可能性の必要条件であるが十分条件ではないことを、具体的な関数を用いて考察できる。これまで学んだ公式を用いて、新たな公式を証明することができる。 $\log x $ の導関数について、それを考える理由とともに理解し、導関数の計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 $(x^a)^n = ax^{n(a-1)}$ において、 $a$ の範囲が自然数、整数、有理数と拡張されていくことに興味をもち、その展開について理解を深めようとしている。	○	○		40
定期考査			○	○	○	1	
2 学期	接線の方程式 平均値の定理 関数の値の変化 関数のグラフ 方程式・不等式への応用 速度と加速度 近似式	導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	【知識・技能】微分係数の意味を理解しており、曲線の接線、法線の方程式を求めることができる。平均値の定理の図形的な意味を理解している。第2次導関数の図形的な意味を理解し、曲線の凹凸や変曲点を調べることができる。 【思考・判断・表現】平均値の定理を用いた不等式の証明ができる。微分可能でない点でも関数が極値をもつことがあることを理解し、定義をもとに極値を求めることができる。増減や凹凸、漸近線などを調べて、関数のグラフをかくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】導関数だけでなく連続性や微分可能性、極値の定義などにも注意して、増減を丁寧に調べようとしている。関数のグラフの様々な形に興味をもち、様々な方法でそれを調べようとしている。	○	○		40
	定期考査			○	○	○	1
	不定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 いろいろな関数の不定積分 定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 定積分のいろいろな問題	様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。 様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】不定積分と定積分の定義や性質を理解し、また、合成関数の微分の逆演算として置換積分法を、積の微分の逆演算として部分積分法を理解し、積分を求めることができる。 【思考・判断・表現】部分積分法を用いるとき、どの関数を $f(x)$ 、 $g(x)$ と考えるか、適切に判断でき、その根拠を説明できる。 $\sqrt{(a^2-x^2)}$ の定積分について、円の面積と関連付けて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】簡単には積分が求められない場合に、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとしている。区分求積法を理解し、定積分と数列の和の極限との関係を考察しようとしている。		○	○	40

	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	面積 体積 道のり 曲線の長さ	定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。	<p>【知識・技能】定積分を用いて、図形の面積と軸の周りの回転体の体積を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】媒介変数表示された曲線で囲まれた図形の面積を、置換積分法を活用して求めることができる。立体の断面がどのような図形になるか考え、定積分を用いて体積を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】定積分を用いると、既習の三角錐や円錐の体積、球の体積の公式が導けることに興味をもち、積極的に考察しようとしている。</p>		○	○	11

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 選択者

教科担当者：辰田

使用教科書：（生物705 高等学校 生物 第一学習社）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然の事物・現象に対する科学的な知識を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い、科学的に探求する能力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に対する関心を高める。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・生物や生物現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。 ・自然界のさまざまな事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養を身につけている。	・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえられる。 ・生物現象について探究する場合に、それらを個々のレベルで分析すると同時に、全体を総合的にとらえ、表現することができる。	・生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1章 生物の進化 【知識及び技能】 ・生命の誕生に関する仮説について理解している。 ・歴史的な進化説と現在の進化説の基本的な発想の視点を踏まえ、底流にある基本概念を把握している。 ・現在では系統に基づく視点からの分類法が最も妥当性があるものとして承認されているという事実を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地質時代における生物の変遷を、化石にもとに考察し、環境の変化との関連を探究できる。また、霊長類現生種との形態比較から人類の進化を考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現生種についての比較形態、比較発生、生物分布などの資料から進化の証拠を理解し、進化説の理解を深めようとする。 ・生物分類の必要性を理解し、その歴史的大分類の視点がどこに置かれていたのかを把握しようとする。 ・現在の生物分類と系統を理解しようとする。	指導事項 ・進化説については代表的なものを中心に扱う。 ・生物の分類については、分類の基準を理解する上で必要な程度にとどめ、各分類群の羅列的な扱いはしない。 ・生物の系統については、多様な生物が存在することについて、それらの系統関係を探究的に考察する過程を重視して扱う。 教材 セミナー生物等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・実際に確認できない長大なスケールの時間に対しても、対比することで概要を把握できる。 ・生命の誕生に関する仮説について理解している。 ・歴史的な進化説と現在の進化説の基本的な発想の視点を踏まえ、底流にある基本概念を把握している。 ・現在の生物分類と系統を理解している。 ・現在では系統に基づく視点からの分類法が最も妥当性があるものとして承認されているという事実を理解している。 【思考・判断・表現】 DNAの塩基配列に生じる突然変異が、生物の形質にどのような変化をもたらすかを見いだしている。 遺伝子が分配されるしくみである減数分裂について理解し、遺伝子の変化がどのように子に伝わるかを考察できる。 霊長類現生種との形態比較から人類の進化を考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現生種についての比較形態、比較発生、生物分布などの資料から進化の証拠を理解し、進化説の理解を深めようとする。 ・生物分類の必要性を理解し、その歴史的大分類の視点がどこに置かれていたのかを把握しようとする。	○	○	○	28
定期考査			○	○		1
1学期 2章 生物の現象と物質 【知識及び技能】 ・タンパク質の基本的な構造・性質についての学習を手がかりとして、酵素作用や免疫現象・筋収縮などが、タンパク質の特異性や多様性に基づいて展開されていることを理解している。 ・エネルギーの利用に際して、ATPがエネルギーの通貨として働いていることを理解している。 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成からとり出すしくみを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物体にもみられる様々な働きが、酵素による触媒作用をはじめとした、タンパク質の多様性および特異性に基づいていることを科学的に考察できる。 ・バイオテクノロジーの発達が人類の生活を豊かにする可能性があることを理解するとともに、そのマイナス面についても目を向け、考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】	指導事項 ・細胞を構成する主な物質は、脂質を中心に扱う。 ・酵素の特質が主成分であるタンパク質の構造や性質に基づくものであることを平易に扱う。 ・細胞間情報伝達などについては、タンパク質の機能の観点から平易に扱う。 ・同化と異化の例として光合成や呼吸などのしくみを扱うが、反応系の物質の羅列的な扱いはしない。 ・生命現象を分子レベルで捉えるために必要な最小限の化学の知識（酸化還元など）にも触れること。 教材 セミナー生物等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生体膜の構造に関する学習を手がかりとし、細胞あるいは細胞小器官が生体膜によって独自の密閉空間をつくり、細胞内外の物質輸送を行っていることを理解している。 ・細胞の形の維持には、細胞壁などの炭水化物や、微小管やフィラメントなどのタンパク質が関与していることを理解している。 ・タンパク質の基本的な構造・性質について理解している。 ・タンパク質の構造・性質についての学習を手がかりとして、酵素作用、物質の輸送や情報伝達などが、タンパク質の特異性や多様性に基づいて展開されていることを理解している。 ・エネルギーの利用に際して、ATPがエネルギーの通貨として働いていることを理解している。 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成からとり出すしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 ・酵素に関する実験を行い、生命現象に酵素の働きが関わっていることに気付くことができる。実験から、酵素には最適温度や最適pH	○	○	○	28

	<ul style="list-style-type: none"> <li>分子レベルでの生物現象の把握を主な目的として、タンパク質や核酸などの有機化合物の多様な働きが生物現象の基本になっていることを理解しようとする。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。</li> <li>DNAが遺伝子として働くしくみや、RNAがタンパク質合成に関与しているしくみを理解しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目があることを考察することができる。</li> <li>生物体にみられるさまざまな働きが、酵素による触媒作用をはじめとした、タンパク質の多様性および特異性に基づいていることを科学的に考察できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分子レベルでの生物現象の把握を主な目的として、タンパク質や核酸などの有機化合物の多様な働きが生物現象の基本になっていることを理解しようとする。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。</li> </ul>	○	○	○	28	
	定期考査		○	○		1	
2 学 期	<p>3章 遺伝情報とその発現</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の配偶子のでき方を理解している。</li> <li>発生のしくみについては、結果としてわかっていることを覚えているだけでなく、実験によって、そのしくみが次第に明らかになってきた過程を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生殖細胞がつくられる過程と意義を科学的に考察できる。</li> <li>受精については、生殖細胞の合体により染色体数が還元し、新しい体細胞のものでできる過程として理解しようとする。</li> <li>発生の過程が、ヒトをはじめとした多くの生物に共通するものであることを実証的・論理的に分析し、総合的に考察し、表現することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の発生とそのしくみについては、ヒトとの共通点のあるカエルについて学習し、形態形成運動や誘導などの働きによって複雑なからだのつくりができていく過程を理解しようとする。</li> <li>発生のしくみについては、誘導現象など代表的な例について理解させ、実験によってそのしくみが次第に明らかになってきた過程に重点をおいて探究的に考察させる。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DNA・RNAの分子構造については、模式的に示す程度にとどめる。</li> <li>遺伝情報、遺伝子の複製、タンパク質の合成などは、核酸の構造に基づいて平易に扱う。</li> <li>原核細胞と真核細胞のあいだには染色体の構造や伝令RNAの生成過程などに違いがあることにも触れる。</li> <li>形質発現については、転写レベルの調節のしくみにも触れるが、形質発現の調節、細胞の分化や形態形成のしくみについては初歩的事項にとどめる。</li> <li>発生のしくみについては、必要に応じて分子レベルの扱いも行う。</li> <li>バイオテクノロジーについては、遺伝子操作などの例を平易に扱う。</li> </ul> <p>・教材 セミナー生物等 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メセルソンとスタールの実験結果とともに、半保存的複製のしくみを理解している。</li> <li>DNAが遺伝子として働くしくみや、RNAがタンパク質合成に関与しているしくみを理解している。</li> <li>動物の配偶子形成、受精膜の形成のしくみを理解している。</li> <li>動物の発生とそのしくみについては、ヒトとの共通点のあるカエルについて学習し、形態形成運動や誘導などの働きによって複雑なからだのつくりができていく過程を理解している。</li> <li>誘導のしくみを理解し、動物の器官が連鎖的に形成されていくことを理解している。</li> <li>電気泳動の原理を理解し、実験によって、設定したDNA断片の長さに応じた適切な泳動結果を得ることができる。</li> <li>バイオテクノロジーの医療・農業等への応用されている事例や方法を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>X-galを用いた大腸菌の培養実験をもとに、遺伝子発現がどのように調節されているのかを見いだそうとし、自分なりの考えを出すことができる。</li> <li>遺伝子の発現調節のしくみについて、調節遺伝子やプロモーター、転写調節領域などの語句を用いて、一連の流れを説明することができる。</li> <li>ショウジョウバエの頭尾軸決定に関する実験結果をもとに、動物の発生において、軸の形成には卵に蓄積された母性因子が関与していることを理解している。</li> <li>バイオテクノロジーの発達が人類の生活を豊かにする可能性があることを理解するとともに、そのマイナス面についても目を向け、考察し、表現することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バイオテクノロジーについて関心をもち、生活にどのように役立っているのかを知ろうとする。</li> </ul>	○	○	○	28
		定期考査		○	○		1
	<p>4章 生物の環境応答</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神経の構造と興奮の発生・伝導・伝達の関係の学習から、動物が能動的に外部環境に反応することを理解している。</li> <li>脳などの中枢神経系の働きを学習したことで、脊ついで動物のからだの巧妙に調節されていることを理解し、知識を身につけている。</li> <li>植物が外部の環境に影響されてみせるさまざまな現象を、屈性などの伸長成長や、発芽、花芽形成などの器官分化などの学習を通じて身につけている。</li> <li>植物の場合は、植物ホルモンなどの働きなどによって、環境に対する反応や調節が行われることを具体的に理解している。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>余裕があれば、活動電位が発生し、伝わるしくみについてイオンベースでの解説も行う。</li> </ul> <p>・教材 セミナー生物等 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神経の構造と興奮の発生・伝導・伝達の関係の学習から、動物が能動的に外部環境に反応することを理解している。</li> <li>脳などの中枢神経系の働きを理解し、脊ついで動物のからだの巧妙に調節されていることを理解している。</li> <li>動物の行動は、刺激の受容にはじまる一連のしくみによって成立していることを理解している。</li> <li>伸長成長や、発芽、器官分化などの現象が巧妙に制御されていること、それらがさまざまな実験によって明らかにされてきたことを理解し、科学的に判断できる。</li> <li>植物が外部の環境に影響されてみせる様々な現象を、屈性などの伸長成長や、発芽、花</li> </ul>				

<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各受容器の構造と機能との関係、興奮の伝導や伝達の様相、興奮の神経における伝達経路について、整理して述べることができる。</li> <li>骨格筋が収縮するしくみを理解し、筋収縮に必要なエネルギーがどのように供給されるのかについて考察できる。</li> <li>学習による行動の発達と神経系の発達との関係を説明することができる。</li> <li>伸長成長や、発芽、器官分化などの現象が巧妙に制御されていること、それらがさまざまな実験によって明らかにされてきたことを理解し、科学的に判断できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物は環境の変化を受容する受容器をもつとともに、神経系など生物体のもつ巧みな制御機構や調節のしくみによって、安定した内部環境を維持していることを意欲的に理解し、探究しようとする。</li> <li>動物の行動は、刺激の受容にはじまる一連のしくみによって成立していることを関心をもって理解しようとする。</li> <li>植物の反応や調節が植物ホルモンによって行われていることを理解し、身につけようとする。</li> </ul>		<p>芽形成などの器官分化などの学習を通じて身につけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植物の場合は、植物ホルモンの働きなどによって、環境に対する反応や調節が行われることを具体的に理解している。</li> <li>植物の生殖細胞がつくられる過程を理解している。</li> </ul> <p>代表的な植物である被子植物などについて、配偶子のでき方を理解している。また、種子の形成に関連させて胚の発生の過程も理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>眼を中心とした受容器の構造と機能に関心をもって学習し、光量調節や遠近調節などのしくみを説明できる。</li> <li>骨格筋が収縮するしくみを理解し、筋収縮に必要なエネルギーがどのように供給されるのかについて考察できる。</li> <li>学習による行動の発達と神経系の発達との関係を説明することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植物の反応や調節が植物ホルモンによって行われていることを理解し、身につけようとする。</li> </ul>	○	○	○	24
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>3 学期</p> <p>第5章 生態と環境</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物の集団を個体群としてとらえ、そこにみられる現象や法則性を理解している。</li> <li>生態系の構造や働きと、その平衡のしくみを理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物の生活は環境と深い関わりをもっていることを、身近な現象についてとり上げながら、すでに学習した知識を活用して考えようとする。</li> <li>異なる2種の個体群間関係、さらに、より多くの個体群から形成されている生物群集の構造や働きとその変動を明らかにできる。</li> <li>生態系の構造や働きを、物質循環・エネルギーの流れの観点から考察し、表現することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物は生物集団として、無機的環境やほかの生物集団とのあいだでさまざまな関係をもちながら生活していることを理解することによって、環境と生物の関係を総合的にとらえようとする。</li> <li>それまでに学習した内容から、人間の活動と自然破壊の関連性について考察し、自然保護・環境保全の意義を実感として理解しようとするとともに、主体的に行動できるような意識をもつ。</li> </ul>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個体群の成長の様式や個体群が様々な環境に適応して維持されるしくみなどについては基本的な事項を中心に平易に扱う。</li> <li>食物網や物質循環・エネルギーの流れなどについては代表的な例を通して扱う。</li> </ul> <p>・教材 セミナー生物等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異なる2種の個体群間関係、さらに、より多くの個体群から形成されている生物群集の構造や働きとその変動を理解している。</li> <li>生態系の構造や働きを、物質循環・エネルギーの流れの観点から考察し、表現することができる。</li> <li>生態系の構造や働きと、その平衡のしくみを理解している。</li> <li>窒素循環については、植物の窒素同化のしくみもあわせて理解している。また、根室や植物と根粒菌との共生についても理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウキクサを用いた実験から、個体群がどのように成長するかを理解することができる。また、個体群の密度の変化が、個体数や個体の形質に影響を及ぼすことを理解している。</li> <li>2種の生物の個体数変動のグラフから、被食者と捕食者の個体数が周期的に変動することを見いだして理解することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物の生活は環境と深い関わりをもっていることを、身近な現象についてとり上げながら、すでに学習した知識を活用して考えようとする。</li> <li>それまでに学習した内容から、人間の活動と自然破壊の関連性について考察し、自然保護・環境保全の意義を実感として理解しようとするとともに、主体的に行動できるような意識をもつ。</li> </ul>	○	○	○	28
						合計
						140

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A～H組：久保、慶徳、浅原、久保田、田口、山本）

使用教科書：（「ステップアップ高校スポーツ」（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元：体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等</p>	<p>【知識・運動】 体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりにしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>【知識及び技能】 種目の特性を理解して計画的、合理的な実践ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える力の育成、課題解決に向けて解決方法を探索して授業計画を立てることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。リーダーとして積極的に取り組む</p>	バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカー、フットボール、テニス、卓球	<p>【知識・技能】 種目の授業計画を合理的、実践的に計画している。（ワークシート提出）</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。他者と協力している。</p>	○	○	○	30
<p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカー、フットボール、テニス、卓球、ニュースポーツ	<p>【知識・技能】 種目の授業計画を合理的、実践的に計画している。（ワークシート提出） 集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。</p> <p>【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。他者と協力している。</p>	○	○	○	45

3 学 期	<p>単元：球技（種目選択制）</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること</p>	<p>バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、テニス、卓球、ニュースポーツ</p>	<p>【知識・技能】 種目の授業計画を合理的、実践的に計画している。（ワークシート提出） 集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。</p> <p>【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。他者と協力している。</p>	○	○	○	16
	<p>単元：体育理論</p> <p>【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むこと。</p>	<p>バレーボール、バスケットボール、バドミントン、サッカー、ソフトボール、テニス、卓球、ニュースポーツ</p>	<p>【知識・技能】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
							合計

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者： (A組～H組： 橋本深雪 )

使用教科書： ( MOUSA2 教育芸術社 )

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 歌唱、器楽、鑑賞、創作における発展的な知識を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力（専門分野）の向上。

【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動、ペアワークを通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音符や記号を理解し、楽譜を読むことができる。自らの考えや感性を整理して分析するための知識や、それを表現するために必要な技能を身に付ける。	ペアワークやグループ活動を通して自らの学びを深める。音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わり、思考力、判断力、専門的な表現力を養う。	音楽の幅広い活動やグループ活動を通して、豊かな人間性を持った人材の育成を目指し、コミュニケーション能力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 オリエンテーション ・教材 教科書・ワーク ・一人1台端末の活用 等 調べ学習	○			○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 授業項目の理解 【思考力、判断力、表現力等】 腹式呼吸を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、積極性	・指導事項 音楽鑑賞・呼吸と発声法・楽典 ・教材 コンコーネ・校歌楽譜・ワーク ・一人1台端末の活用 等 調べ学習		○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 読譜力 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容の把握と発展的理解 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 ギター・ ・教材 教科書・プリント・ワーク ・一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 授業項目の理解 【思考力、判断力、表現力等】 腹式呼吸を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、積極性	・指導事項 音楽鑑賞・呼吸と発声法・楽典 ・教材 コンコーネ・校歌楽譜・歌唱局 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	○	○	○	6
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容の把握と発展的理解 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 下記課題の提出・歌曲・ギター ・教材 歌唱（教科書より） ・一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○	○	○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	○	○	○	15
	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容の把握と発展的理解 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 ギター・キーボード、鑑賞 ・教材 教科書・ワーク ・一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○	○	○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	○	○	○	15
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 発表内容の整理 【思考力、判断力、表現力等】 発表する際の表現技術理解 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 音楽鑑賞・発表・楽典 ・教材 コンコーネ・校歌楽譜・歌唱局 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	○	○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の整理 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 音楽鑑賞・呼吸と発声法・楽典 ・教材 コンコーネ・校歌楽譜・歌唱局 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	○	○	○	8
											合計
											70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 A, B, C, D, E, F 組  
 教科担当者： 林 徳子  
 使用教科書： ( 教育図書 書 1 )

教科 芸術 の目標： 美術・音楽・書道の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】 芸術に関する教科の特質を理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標： 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の基本的な技術を身に付けるとともに、表現するうえで適切な技法を身に付けていく。	書の歴史的背景、書家の人物像にも思いを馳せ、筆法の説明も自らの言葉でできるように、臨書、鑑賞を重ねていく。	自主的に創意工夫を重ねていく学習態度を身に付けていく。表現する技術と感性を自ら高めていくことで、生涯にわたって、書、芸術を愛好する心情を育てていきたい。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮	鑑 賞					
1 学 期	書道の基本					姿勢執筆や、用具、用材について理解し、書の学習方法を把握している。				4
	楷書の学習					筆法を理解している。臨書するためにじっくりとお手本に向き合おうとしている。				6
	楷書の学習					九成宮禮泉銘と孔子廟堂碑との違いを意識して、臨書に臨んでいる。				6
	書の作品制作の導入					孔子廟堂碑 筆法を知り、九成宮禮泉銘との比較してそれぞれの特徴を理解している。				8
2 学 期	作品展示					互いの作品への鑑賞することは、展示をしていく上で重要であることを理解し、協力して作業を進めようとしている。				10
	行書の学習					蘭亭序の臨書を通して、行書について理解する。				8
	行書の学習					行書の基本を理解し、行書体で書くことができる。				12
3 学 期	仮名の学習					変体仮名、連綿の構造などを理解し、日本の伝統的な仮名への関心を深めている。				8
	漢字かな交じりの学習					漢字かな交じりの書で創作の基本を理解し、創作している。				8
										合計
										70

高等学校 令和7年度 (3学年用) 教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅢ

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

教科担当者：鈴木、池田、常定、田口

使用教科書：( Landmark English Communication Ⅲ )

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】文章を読むのに必要な文法知識を獲得する。

【思考力、判断力、表現力等】文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉える。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答える。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英文を読むのに必要な文法知識を理解できる。	様々な文章を読み、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができる。	多様な語句や文を用いて、主体的に考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話(や)	話(発)	書						
Lesson 1 Incredible Edible	(聞くこと) ・家庭菜園やインクレディブル・エディブルの取り組みについて、必要情報を聞き取る。 (読むこと) ・地方創生のフードプロジェクトについて概要や詳細を理解する。 (話すこと[発表]) ・地域で人が集まるための案について話す。 (話すこと[やり取り]) ・参加してみたいボランティアについてグループで話す。 (書くこと) ・参加してみたいボランティアについて書く。						(1) 聞くこと 家庭菜園やインクレディブル・エディブルの取り組みについて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。 (2) 読むこと インクレディブル・エディブルの取り組みについて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 (3) 話すこと[やり取り] 家庭菜園やインクレディブル・エディブルの取り組みについて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと[発表] 家庭菜園やインクレディブル・エディブルの取り組みについて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 (5) 書くこと 家庭菜園やインクレディブル・エディブルの取り組みについて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく書いて伝えることができる。					14
Lesson 2 Blood Is Blood	(聞くこと) ・人種問題についての会話を聞いて、必要情報を聞き取る。 (読むこと) ・血液の研究と差別撤廃に生涯をささげた黒人医師について概要や詳細を理解する。 (話すこと[発表]) ・もしもデモが開催されれば参加するかについてペアで話す。 (話すこと[やり取り]) ・文化的背景の異なる人々と協働して暮らすために重要だと思うことについてグループで話し合う。 (書くこと) ・文化的背景の異なる人々と協働して暮らすために重要だと思うことについて書く。						(1) 聞くこと 人種問題や血液の研究と差別撤廃に生涯をささげた黒人医師について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。 (2) 読むこと 血液の研究と差別撤廃に生涯をささげた黒人医師について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 (3) 話すこと[やり取り] 人種問題や血液の研究と差別撤廃に生涯をささげた黒人医師について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと[発表] 人種問題や血液の研究と差別撤廃に生涯をささげた黒人医師について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 (5) 書くこと 文化的背景の異なる人々と協働して暮らすために重要なことについて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく書いて伝えることができる。					14
定期考査											1	
Lesson 3 Saving Our Treasures from the Sea	(聞くこと) ・自然災害についての発表を聞いて、必要情報を聞き取る。 (読むこと) ・世界遺産ベニスと巖島神社を支える科学技術について概要や詳細を理解する。 (話すこと[発表]) ・近年の非常に強い雨が降る暮らしをする上で何ができるかについてペアで話す。 (話すこと[やり取り]) ・未来の世代にどのような無形遺産を保存したいかについてグループで話し合う。 (書くこと) ・未来の世代にどのような無形遺産を保存したいかについて書く。						(1) 聞くこと 自然災害や世界遺産ベニスと巖島神社を支える科学技術について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。 (2) 読むこと 世界遺産ベニスと巖島神社を支える科学技術について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 (3) 話すこと[やり取り] 自然災害や世界遺産ベニスと巖島神社を支える科学技術について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと[発表] 自然災害や世界遺産ベニスと巖島神社を支える科学技術について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 (5) 書くこと 未来の世代にどのような無形遺産を残したいかについて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく書いて伝えることができる。					16
Lesson 4 Men's Brains vs. Women's Brains	(聞くこと) ・血液型についての会話を聞いて、必要情報を聞き取る。 (読むこと) ・「男女の脳の違いは本当にあるのか」について概要や詳細を理解する。 (話すこと[発表]) ・一般的に普及している考えについてペアで話す。 (話すこと[やり取り]) ・ステレオタイプの要因や、それを克服する方法についてグループで話し合う。 (書くこと) ・ステレオタイプの要因や、それを克服する方法について書く。						(1) 聞くこと 血液型や「男女の脳の違いは本当にあるのか」について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。 (2) 読むこと 「男女の脳の違いは本当にあるのか」について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 (3) 話すこと[やり取り] 血液型や「男女の脳の違いは本当にあるのか」について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと[発表] 血液型や「男女の脳の違いは本当にあるのか」について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 (5) 書くこと ステレオタイプの要因やそれを克服する方法について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく書いて伝えることができる。					16
Lesson 5 Political Correctness	(聞くこと) ・人の名前呼び方についての会話を聞いて、必要情報を聞き取る。 (読むこと) ・差別や偏見のない中立的な用語の利点と問題点について概要や詳細を理解する。 (話すこと[発表]) ・ネットスピーチの禁止に対して、反対・支持者がどのように考える理由についてペアで話す。 (話すこと[やり取り]) ・差別や偏見のない中立的な用語に関する2人のスピーチを聞き、どちらの意見に賛成・反対かについてグループで話し合う。 (書くこと) ・差別や偏見のない中立的な用語に関する2人のスピーチを聞き、どちらの意見に賛成・反対かについて書く。						(1) 聞くこと 人の名前呼び方や差別や偏見のない中立的な用語の利点と問題点について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点などを把握することができる。 (2) 読むこと 差別や偏見のない中立的な用語の利点と問題点について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 (3) 話すこと[やり取り] 人の名前呼び方や差別や偏見のない中立的な用語の利点と問題点について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 (4) 話すこと[発表] 人の名前呼び方や差別や偏見のない中立的な用語の利点と問題点について、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく話して伝えることができる。 (5) 書くこと 差別や偏見のない中立的な用語に関する2人のスピーチを聞き、どちらの意見に賛成・反対かについて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的に注意して詳しく書いて伝えることができる。					16
定期考査											1	

1 学期





高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅲ

教科：外国語

科目：論理・表現Ⅲ

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者：鈴木、渡辺、森田、田口

使用教科書：( be English Logic and Expression Ⅲ clear )

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の字彙を通じて、言語の働きや役割などを理解する。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 課題・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語での語に理解し、適切に反応したりする。思いやり感じたりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを語らばり書いたりする。

【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

科目 論理・表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 【技能】 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理的構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理的構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	感	配 当 時 数
		聞	話	読	書	話(き)					
A 単元 Lesson1 A City Worth Visiting	動画や動画詞を適切に用いて、私たちが暮らす社会について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	○	○	○	○	○					4
B 単元 Lesson 2 Our Hometowns	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	○	○	○	○	○					6
定期考査							○	○			1
C 単元 Lesson 3 What Makes a City Attractive?	私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか、論理的に詳しく伝え合っている。また、自分の意見を振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	○	○					6
D 単元 Lesson 4 How Do You Spend Your Time?	動画や動画詞を適切に用いて、余暇の過ごし方、スポーツや娯楽などのトピックについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	○	○	○	○	○					6
E 単元 Lesson 5 Try Something New	余暇の過ごし方、スポーツや娯楽などのトピックについて考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	○	○	○	○	○					6
定期考査							○	○			1

2 学 期	6 単元 Lesson 6 The Art of Translation	和訳の進め方、スロープや単語などのトピックについて、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	○	○	○	○	6
	7 単元 Lesson 7 Combating Climate Change	名詞のあとに適切に説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの話題について、はっきりとした英語で伝え合うことができる。	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査									1
	8 単元 Lesson 8 Future Energy Sources	気候、環境、エネルギーなどの課題について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	○	○	○	○	○	○	○	7
	9 単元 Lesson 9 Discussing the Environment	気候、環境、エネルギーなどの課題について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	○	○	○	○	6
3 学 期	10 単元 Lesson 10 Globalization and Immigration	不定詞と動名詞を適切に用いて、持続可能な発展に関する話題について、はっきりとした英語で伝え合うことができる。	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査									1
	11 単元 Lesson 11 What is Fair Trade?	持続可能な発展に関する話題について考え、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。	○	○	○	○	○	○	○	6
	12 単元 Lesson 12 Helping to Fight Poverty	持続可能な発展に関する話題について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	○	○	○	○	4
	定期考査									1

合計  
70

# 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 情報 科目 情報II

教科： 情報                      科目： 情報II                      単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 3 学年 A～H組  
 教科担当者： A～H組 鈴木  
 使用教科書： （「情報II」 実教出版 ）

教科 情報の目標：

- 【知識及び技能】 多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目的、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

科目 情報IIの目標： 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決を行う学習活動を通じて、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与するための資質・能力を次のとおり養成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能。情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報社会と人の関わりについては、情報に関する法理や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報と情報技術の理解を併せて身に付ける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの観点から捉え、複数の情報を結びつけたる力を養うとともに、問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守らうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CALL教室の使い方を理解する。</li> <li>・授業の進め方評価方法を理解する。</li> <li>・コンピュータの起動や終了の方法を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CALL教室のルールを理解している。</li> <li>・コンピュータを起動し、目的とするアプリケーションを開くことができ、正しい手順で終了することができる。</li> </ul>	○			1
	単元 「情報社会」 【知識及び技能】 ・情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の発展について理解する。 ・情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について理解する。 ・情報技術の発展による人の知的活動への影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報技術の発展や情報社会の発展を踏まえ、将来の情報技術と情報社会の在り方について考察する。 ・コミュニケーションが多様化する社会におけるコンテンツの創造と活用の意義について考察する。 ・人の知的活動が変化する社会における情報システムの創造やデータ活用の意義について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報技術が進展することにより生じる問題を解決しようとする。 ・情報セキュリティに関心を持ち、情報セキュリティに対する対策を講じようとする。 ・コンテンツ演出の特徴を活かした活用方法を考え、コンテンツ作成に活かそうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>1 情報社会の進展</li> <li>2 知的活動の変化</li> <li>3 X-Techによる社会の変化</li> <li>4 情報セキュリティ</li> <li>5 クラウドサービスの利用</li> <li>6 法と制度の整備</li> <li>7 メディアとさまざまなコンテンツ</li> <li>8 コミュニケーションの多様化</li> <li>9 コンテンツの制作</li> </ul> ・教材 教科書 授業ノートプリント CALL教室の端末 一人1台端末（iPad） ノートアプリ（ロイロノート）	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】                ・情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の発展について理解している。                ・情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について理解している。                ・情報技術の発展による人の知的活動への影響について理解している。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】                ・情報技術の発展や情報社会の進展を踏まえ、将来の情報技術と情報社会の在り方について考察できる。                ・コミュニケーションが多様化する社会におけるコンテンツの創造と活用の意義について考察できる。                ・人の知的活動が変化する社会における情報システムの創造やデータ活用の意義について考察できる。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】                ・情報技術が進展することにより生じる問題を解決しようとしている。                ・情報セキュリティに関心を持ち、情報セキュリティに対する対策を講じようとしている。                ・コンテンツ演出の特徴を活かした活用方法を考え、コンテンツ作成に活かそうとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
1 学 期	単元 「データサイエンス」 【知識及び技能】 ・多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解し、目的に応じた適切なデータの収集や整理、整形について理解し技能を身に付けている。 ・データに基づく現象のモデル化やデータの処理を行い解釈・表現する方法について理解し技能を身に付けている。 ・データ処理の結果を基にモデルを評価することの意義とその方法について理解し技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて、適切なデータを収集し、整理し、整形する。 ・将来の現象を予測したり、複数の現象間の関連を明らかにしたりするために、適切なモデル化や処理、解釈・表現を行う。 ・モデルやデータ処理の結果を評価し、モデル化や処理、解釈・表現の方法を改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実社会の問題に対するデータサイエンス技術の応用に興味・関心をもつ。 ・政府統計データなどのインターネットに公開されているデータに興味・関心を示す。 ・データ分析に基づく身近な社会問題の解決について興味・関心を示す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項</li> <li>1 データサイエンスと社会</li> <li>2 データの収集</li> <li>3 データの整理と変換</li> <li>4 データの分析と可視化</li> <li>5 統計的推測</li> <li>6 機械学習の概要</li> <li>7 回帰による分析</li> <li>8 分類による分析</li> <li>9 クラスターリングによる分析</li> <li>10 評価と意思決定</li> </ul> ・教材 教科書 授業ノートプリント CALL教室の端末 一人1台端末（iPad） ノートアプリ（ロイロノート）	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】                ・多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割について理解し、目的に応じた適切なデータの収集や整理、整形について理解し技能を身に付けている。                ・データに基づく現象のモデル化やデータの処理を行い解釈・表現する方法について理解し技能を身に付けている。                ・データ処理の結果を基にモデルを評価することの意義とその方法について理解し技能を身に付けている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】                ・目的に応じて、適切なデータを収集し、整理し、整形できる。                ・将来の現象を予測したり、複数の現象間の関連を明らかにしたりするために、適切なモデル化や処理、解釈・表現を行うことができる。                ・モデルやデータ処理の結果を評価し、モデル化や処理、解釈・表現の方法を改善できる。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】                ・実社会の問題に対するデータサイエンス技術の応用に興味・関心をもっている。                ・政府統計データなどのインターネットに公開されているデータに興味・関心を示している。                ・データ分析に基づく身近な社会問題の解決について興味・関心を示している。</li> </ul>	○	○	○	16
	実技試験						0.5
	定期考査						0.5



高等学校 令和7年度(3学年用) 教科

家庭 科目 保育基礎

教科: 家庭

科目: 保育基礎

単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 組~ 組

教科担当者: (C, D, G, H組: 有川)

使用教科書: (実教出版「保育基礎」)

教科 家庭

の目標:

- 【知識及び技能】 保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していくとする実践的な態度を身につけている。

科目 保育基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していくとする実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元「子どもの保育」 【知識及び技能】 保育者に求められる役割や関り方のポイントを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 保育環境やその課題について、社会的背景などと関連づけて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの保育について、自分の希望進路先の役割や環境を探索する。	①保育の意義 ②保育の方法 ・保育者の役割 ・一人ひとりに合わせた指導 ③保育の環境 ・家庭での保育 ・幼児教育・保育の場 ・子どもが育つ環境の変化と課題	【知識・技能】 保育者に求められる役割や関り方のポイントを理解している。 【思考・判断・表現】 保育環境やその課題について、社会的背景などと関連づけて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの保育について、自分の希望進路先の役割や環境を探索しようとしている。	○	○	○	5
	単元「子どもの発達」 【知識及び技能】 子どもの心身の発達・発育について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 愛着関係形成のための大人の適切な関り方について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達・発育の特徴を踏まえて、適切な関り、声掛けをできるように主体的に情報を集める。	①子どもの発達の特性 ・発達と保育 ・発達の共通性と個性 ②子どもの体からの発達 ・発育・発達の評価 ・身体的特徴 ・生理的特徴 ③子どもの心の発達 ・社会・情緒的な発達 ・知的発達 ・言葉の発達 月齢、年齢別の発育・発達	【知識・技能】 子どもの心身の発達・発育について理解している。 【思考・判断・表現】 愛着関係形成のための大人の適切な関り方について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達・発育の特徴を踏まえて、適切な関り、声掛けをできるように主体的に情報を集め、学んでいる。	○	○	○	25
	実習「壁画制作」 【知識・技能】 担当する月の季節に合った壁画を完成させる。 【思考・判断・表現】 園児が楽しめる工夫を壁画制作の中で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 園児(他生徒)に積極的に関わり、園児と楽しく壁画製作に取り組む。	・1人ひとりで担当 ・園児が活躍する場面を設定(折り紙、切り紙、お絵かきなど) ・園児が楽しめる工夫	【知識・技能】 担当する月の季節に合った壁画を完成させている。 【思考・判断・表現】 園児が楽しめる工夫を壁画制作の中で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 園児(他生徒)に積極的に関わり、園児と楽しく壁画製作に取り組んでいる。	○	○	○	6
	実習「おもちゃ製作」 【知識・技能】 安全なおもちゃを製作する。 【思考・判断・表現】 年齢ごとの発達課題に合わせた楽しみ方の工夫をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に実習に取り組む。	・安全で楽しいおもちゃ(大きさ、重さ、素材など) ・年齢に合わせた楽しみ方の工夫(発達課題)	【知識・技能】 安全なおもちゃを製作している。 【思考・判断・表現】 年齢ごとの発達課題に合わせた楽しみ方の工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に実習に取り組んでいる。	○	○	○	7
	単元「保育実習」 【知識及び技能】 子どもとの関わり方、服装、注意点など理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもや保育園教諭の様子を見て、適切に関わる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に実習に取り組む。	子どもと関わってみよう(保育実習)	【知識・技能】 子どもとの関わり方、服装、注意点など理解している。 【思考・判断・表現】 子どもや保育園教諭の様子を見て、適切に関わっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に実習に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元「子どもの文化」</p> <p>【知識及び技能】 児童文化活動、児童文化財、児童文化施設など子どもの文化を支える場やその意義について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもの遊び実習に向けて、必要な準備や関わり方の工夫などについて考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 子どもの遊び実習について、一通りは実践することができる。</p>	<p>①子どもの文化の意義を支える場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの文化</li> <li>・子どもの文化を支える場</li> </ul> <p>②子どもの遊びと表現活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びと発達</li> <li>・遊びと表現活動</li> </ul>	<p>【知識・技能】 児童文化活動、児童文化財、児童文化施設など子どもの文化を支える場やその意義について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 子どもの遊び実習に向けて、必要な準備や関わり方の工夫などについて考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの遊び実習について、一通りは実践している。</p>	○	○	○	10
	<p>単元「子どもの生活」</p> <p>【知識及び技能】 子どもの安全で健康的な食生活、衣生活に関する知識や技術を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 子どもの事故の実態や原因を踏まえて事故防止や安全教育に結び付けて考えることができる。</p>	<p>①子どもの生活と養護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と養護</li> <li>・栄養と食事</li> <li>・衣生活</li> </ul> <p>②生活習慣の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活習慣</li> <li>・基本的な生活習慣</li> <li>・社会的な生活習慣</li> </ul> <p>③健康管理と事故防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健康管理</li> <li>・事故防止と応急処置</li> </ul>	<p>【知識・技能】 子どもの安全で健康的な食生活、衣生活に関する知識や技術を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法を考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの事故の実態や原因を踏まえて事故防止や安全教育に結び付けて考えている。</p>	○	○	○	19
	<p>実習「絵本製作」</p> <p>【知識及び技能】 4ページの絵本を製作する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 発達課題を踏まえて年齢に合った楽しみ方ができる工夫をしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実習に主体的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起承転結</li> <li>・年齢に合った楽しみ方の工夫（発達課題など）</li> <li>・製本の仕方</li> <li>・読み聞かせ</li> </ul>	<p>【知識・技能】 4ページの絵本を製作している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 実習に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
	<p>実習「劇」</p> <p>【知識及び技能】 劇に必要な小道具を作ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 班員と協力して劇を行うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に劇づくりに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育</li> <li>・バベット</li> </ul>	<p>【知識及び技能】 劇に必要な小道具を作っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 班員と協力して劇を行っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に劇づくりに取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元「子どもの福祉」</p> <p>【知識及び技能】 子どもの福祉を支える公的機関や施設の役割について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもの福祉の課題を見つけることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 児童虐待の現状や課題について、自分の考えをまとめ、希望進路で活かそうとする。</p>	<p>①子ども観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども観の変遷</li> <li>・権利の主体としての子どもへ</li> </ul> <p>②子どもの福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉</li> <li>・子どもをとりまく課題と対策</li> <li>・子どもが育つ社会環境</li> </ul> <p>③子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援からパートナーシップへ</li> <li>・社会的養護</li> <li>・地域の子育て支援</li> </ul>	<p>【知識・技能】 子どもの福祉を支える公的機関や施設の役割について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 子どもの福祉の課題を見つけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 児童虐待の現状や課題について、自分の考えをまとめ、希望進路で活かそうとしている。</p>	○	○	○	5
	合計						105

